
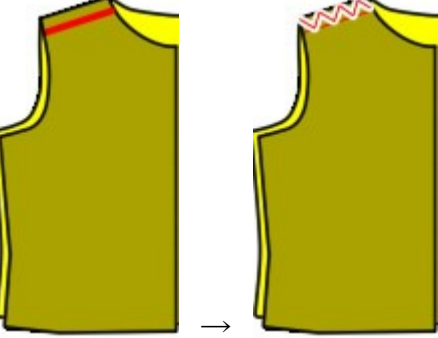
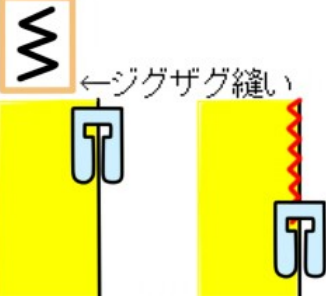

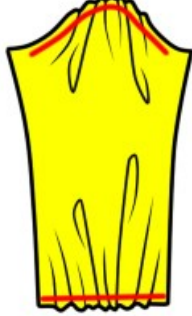

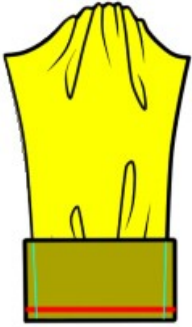
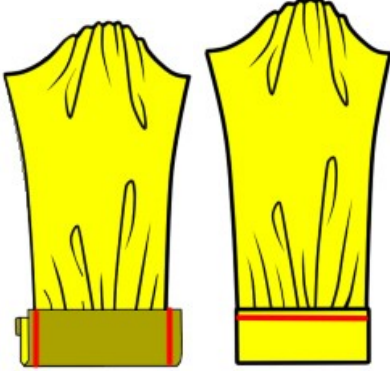
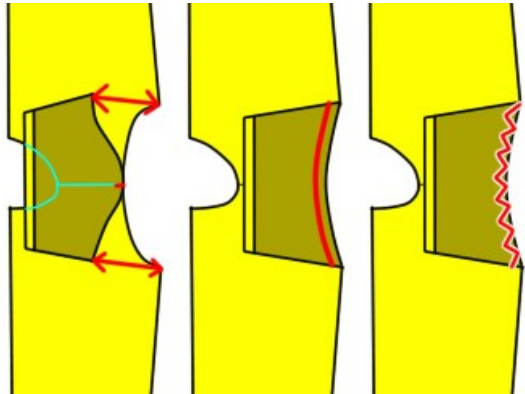


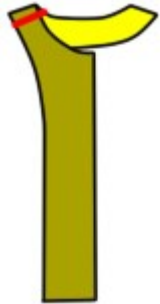
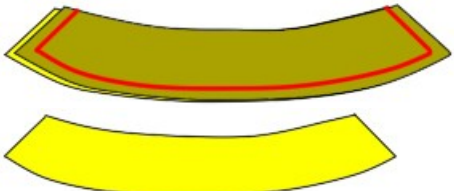


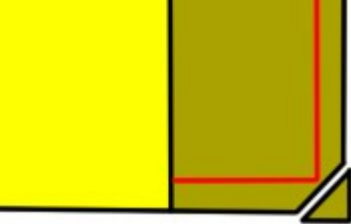
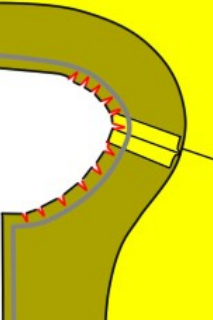
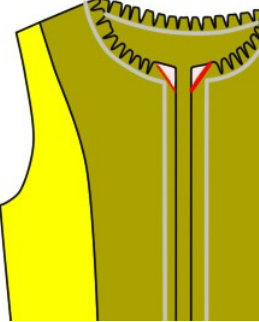

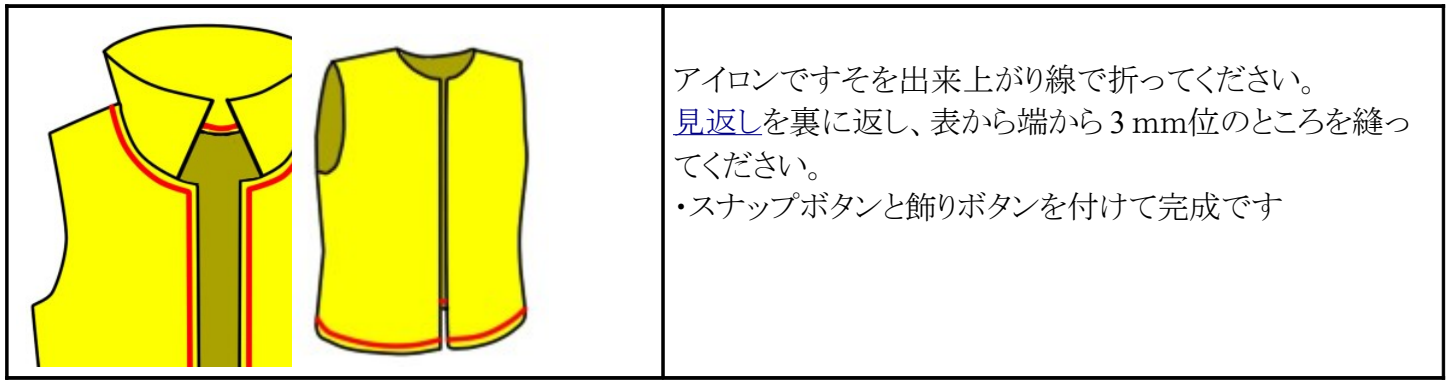
	<p>ダーツ(服を立体にするためのつまみ)を縫ってください。</p> <p>■が裏 ■が表</p> <p>レースや飾りをつけるときは、ダーツを縫った後、肩や脇を縫い合わせていない平な状態で縫い付けると良いです。</p>
	<p>先に赤い部分をほつれ止めしてください。</p> <p>赤い部分以外は縫いながらほつれ止めしていきます。</p>
	<p>前身頃と後身頃の肩を表同士が内側になるように重ね縫ってください。(これを洋裁用語で中表といいます)</p> <p>前後の肩を一緒にほつれ止めしてください。</p>
 <p>←ジグザグ縫い</p>	<p>←は家庭用ジグザグ縫いでほつれどめの仕方。</p> <p>布の端が押さえがねの真ん中にくるよう押さえ金を下ろす。</p> <p>右側に針が落ちるときに、布からはみ出るようにジグザグで縫う。</p> <p>こうするとはみ出た部分が布の端を包んでくれてほつれませんよ！</p> <p>小さくて縫いにくい！！と思ったらピケ(ほつれ止め液)をつかうと楽ですよ</p>
	<p>カフスをつけてください。</p> <p>中心の線どおりに半分に折ってアイロンで折り目をつけてください</p>
	<p>・そで山(上側のカーブ)とそで口にギャザーを寄せてください。</p>  <p>ギャザーの寄せ方は縫う前の下準備参照</p>

	<p>糸調子を元に戻してください。</p> <p>そで口に裏を上にしたカフスを縫ってください。</p>
	<p>上で付けた折り目と逆向きにカフスを折ってください。</p> <p>カフスの両脇を縫ってください</p> <p>カフスを表替えし、袖口の縫い代をカフスの中に入れて表から直線で縫ってください。</p>
	<p>そでを身頃と表同士を内側に重ねて縫ってください。</p> <p>そでの縫い代をアイロンで身頃側へ折って下さい。 これを洋裁用語で倒すといいます。</p>
	<p>そで口から脇まで縫って下さい。</p>  <p>縫い代は後へ折って下さい。</p>
	<p>見返しの両肩を縫ってください (分かりやすいように片方だけ縫い付けている図です) 実際は両方縫ってくださいね。</p>

	<p>えりを表同士が内側になるように二枚重ねて外側を縫ってください。</p> <p>えり首に縫いつける部分は縫わない。</p> <p>スタンドカラーでもセーラーカラーでも形が違ってても順番は同じです。</p> <p>えりを表返してアイロンで形を整えてください</p>
	<p>えり首にえりを出来上がり通りに重ねてください。</p> <p>えりのはしは、前中心に合わせてください。</p>
	 <p>えりのうえから見返しを裏を上にして縫って下さい。</p> <p>見返しのすそも縫ってください。</p>
	<p>カーブの縫い代には切込みを忘れずに。</p> <p>切込みを入れず見返しを裏がえすと引きつった感じになります。</p> <p>(試しに切り込みをいれずに裏返してみてください、そうすると意味が分かると思います)</p>
	<p>縫い代の角を切って下さい</p>  <p>角を折りたたむようにして表に折ってください。</p>



アイロンですそを出来上がり線で折ってください。
見返しを裏に返し、表から端から3 mm位のところを縫ってください。
・スナップボタンと飾りボタンを付けて完成です

必要な道具

表生地、スナップボタン、飾りのボタン、糸

このデザインに適した素材

シーチング、ブロード

多くのお店で売られている薄い素材です。

シーチングは目が粗くやわらかく、ブロードは目が詰まっておりシーチングに比べ張りがあります。

両方柄も色も種類が多いです。

特に何もかかれていなければ、原材料は綿です。

TCブロード

原材料に綿とポリエステルを使った生地。薄く張りがあり、綿100%に比べしわになりにくい

綿サテン

光沢のある衣装用のサテンではなく綿100%のサテンは、ほんのりとした光沢と、やさしい手触りの生地です。

色柄も多いが、お店によっては取り扱いのない所も。

ですが高級感のあるブラウスが作れます。